学校番号	3019

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	ネットワーク管理	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	ネットワーク管理（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

企業活動においてネットワークを適切に活用することを目的としている。１年次の情報処理の発展的授業である。学習活動をおこなうことを通して、企業活動におけるネットワークの活用および管理に必要な資質・能力を育成していく。表計算などのソフトウェアについても学びます。

2　学習の到達目標

【知識および技術】
　企業活動におけるネットワークの管理について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　企業活動におけるネットワークの管理に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
　企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるネットワークの管理に主体的かつ共同的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	企業活動におけるネットワークの管理や、ソフトウェアの活用をおこなえるように知識を身につけている。また、効果的な活用方法を理解しようとしている。	ネットワークの管理について必要な情報を取捨選択できる。 ソフトウェアを使って情報の効率的な集計・分析と分析結果の適切な表現に主体的かつ共同的に取り組んでいる。自分の考えを整理し、適切に表現している。	ネットワークの管理について自ら学ぶ。ソフトウェアを活用した情報の効率的な集計・分析と分析結果の適切な表現に主体的かつ共同的に学べるよう意欲的に授業や実習に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	企業活動と情報通信ネットワーク	① 情報資産の共有の重要性 ② 情報通信ネットワークの形態と通信	a:企業活動におけるネットワークの活用および管理とその環境について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 b:ネットワークを活用および管理することの意義と課題について企業活動の改善と関連付けて見出すことができる。 c:企業活動におけるネットワークの活用および管理とその環境について自ら学び、企業活動の改善に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	小テスト	提出課題	提出課題
	ソフトウェアの活用	ソフトウェアの活用	a: ソフトウェアの活用について実務に即して理解するとともに，関連する技術を身に付けることができる。 b: 企業活動の改善に対する要求を分析し，科学的な根拠に基づいて，ソフトウェアを活用して，情報を集計・分析するとともに，その結果を表現し，評価・改善することができる。 c: ソフトウェアの活用について自ら学び，情報の効率的な集計・分析と分析結果の適切な表現に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	小テスト 定期考査	提出課題 定期考査	提出課題 振り返りシート

2学期	情報通信ネットワークの設計・構築と運用管理	① 情報通信ネットワークの設計方法 ② 情報通信ネットワークの仕組みと通信方法 ③ ネットワーク機器 ④ 情報通信ネットワークの構築方法 ⑤ 情報通信ネットワークの運用と障害対策 ⑥ システム管理	a：ネットワークの活用について実務に即して理解するとともに，関連する技術を身に付けることができる。 b：企業活動の改善に対する要求を分析し，科学的な根拠に基づいて，ネットワークを活用して情報を管理・提供し，評価・改善することができる。 c：ネットワークの活用について自ら学び，情報の効率的な管理と適切な提供に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	小テスト	課題提出	課題提出 観察
	ソフトウェアの活用	ソフトウェアの活用	a：ソフトウェアの活用について実務に即して理解するとともに，関連する技術を身に付けることができる。 b：企業活動の改善に対する要求を分析し，科学的な根拠に基づいて，ソフトウェアを活用して業務を効率的に処理し，評価・改善することができる。 c：ソフトウェアの活用について自ら学び，業務の効率的な処理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出 振り返りシート

3学期	情報セキュリティ管理	① 情報セキュリティ管理の目的と重要性 ② 人的対策 ③ 技術的対策 ④ 物理的対策	a: 情報セキュリティの開発について実務に即して理解するとともに，関連する技術を身に付けることができる。 b: 企業活動の改善に対する要求を分析し，科学的な根拠に基づいて，情報を処理する手順を見いだすとともに，情報セキュリティを評価・改善することができる。 c: 情報セキュリティについて自ら学び，ビジネスに関する情報を処理する適切な情報セキュリティの開発に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度